令和２年度使用小学校用教科用図書の選定一覧

種　目	発行者番号	発行者名	教 科 書 名
国　　語	３８	光　　村	国　　語
書　　写	３８	光　　村	書　　写
社　　会	２	東　　書	新しい社会
地　　図	４６	帝　　国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 ３・４・５・６年
算　　数	６１	啓 林 館	わくわく　算数
理　　科	６１	啓 林 館	わくわく　理科
生　　活	６１	啓 林 館	わくわく　せいかつ　上 いきいき　せいかつ　下
音　　楽	１７	教　　出	小学音楽　音楽のおくりもの
図画工作	１１６	日　　文	図画工作
家　　庭	９	開 隆 堂	わたしたちの家庭科５・６
保　　健	２	東　　書	新しいほけん　３．４ 新しい保健　５．６
道　　徳	３８	光　　村	道徳　きみが　いちばん　ひかるとき
外 国 語	９	開 隆 堂	Junior Sunshine　5 Junior Sunshine　6

（注）　発行者名は略称とする。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【国語】

１　採択教科用図書
　○　光村図書

２　採択理由
（１）光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　単元の配列については、「読む」「書く」などの領域を関連付けて構成したり、第３学年以上の上巻において、短い説明文を練習した後に、長い説明文教材を配置したりすることで、身に付けた力を次の学習に生かせる工夫が見られる。
○　主体的・対話的な学びを充実させるために、「対話の練習」の単元を設けるとともに、各単元の冒頭に「単元の扉」を位置づけ、読みの着眼点を示すことで、作品への期待感を高めながら、主体的な学習が進められるような工夫が見られる。
○　新出漢字については、本文下の脚注だけでなく、単元の最後のページにまとめて掲載することで、学習した漢字を振り返りやすくする工夫が見られる。
○　自分の住んでいる地域への理解を深め、よさなどを改めて考えさせるために、地域の伝統工芸について調べ、説明文を書いたり、地域や学校のよさについての報告文を書いたりする学習活動を取り上げるなどの工夫が見られる。

（２）光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　作者の紹介や、その作者の他の作品紹介など、登場人物の心情に共感できる文学作品が多数掲載されており、児童の読書意欲や語彙力などを高める工夫が見られる。
○　本地域と関連のある教材が取り上げられており、児童が身近なものとして捉えながら学習を進めることができる。
○　「何をどこまで考えさせるか」など、学習の進め方が明確であり、児童がじっくりと思考でき、自分なりの考えや思いを表現しやすくなっている。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【書写】

１　採択教科用図書
　○　光村図書

２　採択理由

（１）光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　単元の構成では、学習を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という３段階で進めることで、課題を明確化しながら、学習のめあてを達成させる工夫が見られる。
○　思考力や表現力を高めるために、読みやすく分かりやすい新聞のレイアウトを考えさせたり、文字への関心を高めるために、「漢字図鑑」で成り立ちを解説したりする工夫が見られる。
○　点画のつながりを意識させるために、点画の形や書き方、文字の組み立て方をキャラクターの台詞で示し、ポイントを理解させる工夫が見られる。
○　自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、町中の案内表示や、歴史的な書物に残っている文字などに関心をもたせる工夫が見られる。

（２）光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　児童が、正しい姿勢や鉛筆の持ち方を正しく理解できるように、大きな写真や挿絵を掲載したり、情報を精選し、ポイントをシンプルに示したりする工夫が見られる。
○　「毛筆」のページについては、「ポイントを押さえて大きくしっかり書く」ことを意識できるように、筆の使い方のポイントがひと目で分かる「たいせつ」を設定したり、お手本の文字を大きく掲載したりする工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【社会】

1　採択教科用図書

○　東京書籍

2　採択理由

（1）東京書籍は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　問題解決に向けた学習に、必要な知識・技能の習得ができるようにするために、各学年の最初に「学習の進め方」のページを設け、問題解決的な学習を具体的に例示したり、随所に「学び方コーナー」を示したりする工夫が見られる。

○　生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習を進めていく上で重要な用語を「ことば」の欄で提示したり、学習場面に応じた学び方を紹介する「まなび方コーナー」を設けたりする工夫が見られる。

○　学習した内容をさらに深めることができるようにするために、「Ｄマークコンテンツ」（デジタルコンテンツ）の活用や、学習内容に応じたクイズや動画、公的機関のホームページなどを見ることができる工夫が見られる。

○　地域や社会の一員としての自覚をもたせることができるようにするために、「いかす」段階では、学習したことをもとに、標語やポスターを作成したり、様々な課題について議論する場を設定したりする工夫が見られる。

（2）東京書籍は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　課題を追究したり解決したりする活動の充実を図るために、写真やグラフなどの資料が精選されており、複式学級をはじめとする少人数学級においても、適切に資料の活用ができるような工夫が見られる。

○　少人数においても対話形式で学習が進められるようにするために、アニメのキャラクターが問いかける欄を設けたり、地域副読本との併用を視野に、教科書に示された典型的な流れを「学びのポイント」として明示したりするなど、児童が親しみをもちながら主体的に学習を進めることができるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、東京書籍の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【地図】

１　採択教科用図書
　○　帝国書院

２　採択理由
（１）帝国書院は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　土地の特徴を理解できるようにするために、地図の縮尺を変えるなどして、地理的な位置や、交通網などの地域間の結び付きを、視覚的にとらえやすくする工夫が見られる。
○　主体的・対話的で深い学びを展開するために、地図学習を進めていく際に参考となる「地図マスターへの道」を示したり、他教科等でも活用できる災害に関する写真や、防災や減災に関するイラストなどを掲載したりするなどして、地図活用の意欲喚起や児童の発展的施行を促す工夫が見られる。
○　日本の産業の学習において、各種のグラフを用いることにより、児童が生産量の変化や地域の特性等を幅広い視点で学べる工夫が見られる。

（２）帝国書院は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　児童の興味・関心を高めながら、理解の定着を図ることができるようにするために、地図の成り立ちや地図記号の解説を掲載したり、ＱＲコードでクイズや統計などを提示したりするなどの工夫が見られる。
○　児童にとって見やすく分かりやすい地図とするために、地図中に示されている特産物などを絵記号で表したり、地図記号を精選したり、文字の周りに白色系の縁を付けたりするなどの工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、帝国書院の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【算数】

１　採択教科用図書
　○　啓林館

２　採択理由
（１）　啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　単元の構成・配列については、段階的に児童の理解を深めることができるようにするために、類似内容を各学期に分散して配置する工夫が見られる。
○　主体的・対話的で深い学びを展開し、数学的な見方・考え方を働かせられるようにするために、「めあて」につながる児童の主体的な考えや気づきを、学びのめばえとして強調して取り扱うなどの工夫が見られる。
○　全学年において教科書紙面のポイントとなる各所にＱＲコードを掲載し、学習の参考になる動画や「じゅんび」、補充問題等のコンテンツを授業や家庭学習で活用できるよう工夫されている。
○　活用する力を身に付けさせるために、日常の事象や既習事項を活用して解決する問題である「わくわく算数広場」を、学期末にまとめて配置する工夫がなされている。

（２）啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　児童が主体的に学習に取り組むことができるようにするために、一単位時間の「めあて」と「まとめ」を示したり、授業中のノートの取り方を例示したりするなどの工夫が見られる。
○　指導者がプログラミング的思考の育成を意識できるようにするために、プログラミング教育につながる学習にマークを付けて、適切に指導することができるような工夫が見られる。
○　少人数においても、主体的に学習を進めたり理解を深めたりするためにＱＲコードを掲載し、学習の参考となる動画や補充学習を活用できるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【理科】

１　採択教科用図書

○　啓林館

２　採択理由

（１）　啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　既習事項を想起することができるようにするために、単元の導入では「思い出してみよう」を設定するとともに、学びによる成長を実感することができるようにするために、単元導入と単元末の「考えてみよう」で、同じ問いについて考えさせる工夫が見られる。

○　児童が問題を科学的に解決できるようにするために、活動から学習問題を見つける過程を具体的に示したり、児童が根拠をもって対話をする場面を例示したり、振り返りのコーナーを設け、「理科の見方・考え方」を具体的に示したりするなどの工夫が見られる。

○　児童が学習内容への興味・関心を高め、新たな気付きや疑問をもてるようにするために、単元の導入において、ダイナミックな写真を提示する工夫が見られる。

○　生命尊重や環境保全について考えさせるために、各学年の飼育・栽培教材を中心に「しぜんを大切に」のマークを付すなど、地域性に配慮した工夫が見られる。

（２）　啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　児童が学習を進めるにあたって、観察・実験に必要なものや、その際の注意事項が分かりやすく示されており安全面に配慮した工夫が見られる。

○　児童が主体的に、見通しをもって観察・実験などを行い、問題を科学的に解決することができるようにするために、問題提起の場面や児童の対話例を分かりやすく示す工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【生活】

1　採択教科用図書
　○　啓林館

2　採択理由
（1）　啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　合科的・関連的な学習活動が展開できるようにするために、上巻冒頭で、スタートカリキュラムを意識した「がっこうだいすきあいうえお」を設定し、学習内容に関連する教科のマークを付けるなどの工夫が見られる。
○　児童が問題意識をもったり、活動に連続性をもたせたりするために、導入では、大きな写真で児童の学習意欲を喚起するとともに、児童の気付きや思い・願いを示した「めくり言葉」を掲載するなどして、気付きの質を高めるような工夫が見られる。
○　児童の理解を深めたり、学びの質を高めたりするために、キャラクターを設定し、気付きのヒントや安全上の留意点を吹き出しにすることで、対話的に学習を進めることができるようにする工夫が見られる。
○　日本の文化や、季節の変化のすばらしさを実感できるようにするために、季節の行事や歌を例示し、身近な地域と関連付けながら学習を進める工夫が見られる。

（2）　啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　写真やイラスト等を精選することで、児童の「やってみたい」という興味・関心や活動意欲を引き出したり、高めたりする工夫が見られる。
○　児童の主体的な学習を促すために、調べ活動に役立つ「季節ごとのイベント」「生き物図鑑」などの情報を、ＱＲコードで得ることができるようにする工夫が見られる。
○　児童の安全意識を高めながら、家庭と学校の連携を図るために、防災に関する標識やマークを掲載するとともに、保護者へのメッセージも掲載するなど親子で学びを深める工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【音楽】

１　採択教科用図書
　○　教育出版社

２　採択理由
（１）　教育出版社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　構成や配列について、児童が主体的に音楽活動を行うことができるように、表現と鑑賞の活動を効果的に組み合わせるなどの工夫が見られる。
○　児童が主体的に学習に取り組めるように、全学年に学習の進め方を分かりやすく示したコーナーを掲載したり、中・高学年に感想等を記入する「メモ欄」を設けたりするなどの工夫が見られる。
○　児童が楽しく音楽活動ができるように、折り込みでの鮮明な写真や、実物とイラストの合成写真を掲載するなど、楽曲のイメージを広げやすくなるような工夫が見られる。
○　児童が、住んでいる地域やこれまでの経験と関連付けて音楽が楽しめるように、全学年にわらべうたや民謡等を豊富に掲載するなどの工夫が見られる。

（２）　教育出版社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　日本各地に伝わる民謡や祭りとして「高千穂の夜神楽」や「ひえつき節」が紹介されており、本地区の児童にとって親しみをもてる写真が取り上げられている。
○　鍵盤ハーモニカやリコーダーの指の置き方について、写真を実物に近い大きさで示すなど、低学年の児童への指導がしやすく、技能が着実に身につけられるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、教育出版社の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【図工】

１　採択教科用図書
　○　日本文教出版社

２　採択理由
（１）　日本文教出版社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　低・中・高学年で、テーマを「かんじる」「ためす」「つくりだす」と設定し、発達の段階を考慮しながら、やさしい内容からより難しい内容へとなるような構成や配列の工夫が見られる。
○　多数の参考作品の紹介や、作品へのコメント、吹き出しを効果的に取り入れてあり、児童が制作に向けたイメージをふくらませやすく、目指すべき資質・能力がより正確に習得できるような工夫が見られる。
○　折り込み３ページ分の「教科書美術館」など、多様な造形の写真が掲載されており、児童が興味や関心を高められるような工夫が見られる。
○　地域に密着した行事や伝統工芸などの作品を紹介しており、児童が地域の伝統や文化のよさを感じられる工夫が見られる。

（２）　日本文教出版社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　掲載されている作品が多く、児童がそれらの作品に触れることにより、自分の発想を豊かにしたり、創作活動への意欲を喚起したりすることができるような工夫が見られる。
○　各題材のはじめに「学習のめあて」を設定したり、創作活動に必要な道具を絵で示したりするなど、児童が主体的に学習できるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版社の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【家庭】

１　採択教科用図書
○　開隆堂

２　採択理由
（１）　開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　構成や配列について、基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へと、系統的に学習が展開できるような工夫が見られる。また、卒業前には、２年間の学習を振り返り、中学校での学習に生かそうとする意欲を高める工夫も見られる。
○　課題解決のステップや取組の例を示した「レッツトライ　生活の課題と実践」が設定され、児童が主体的に、学びを日常生活で生かせるような工夫が見られる。
○　児童が、調理や製作などの作業を安全に進めたり、日常の防災意識を高めたりできる特設ページや、「安全」「環境」「防災」のマークとチェック欄の設定など、児童が安全や環境、防災について意識して活動できるような工夫が見られる。
○　地域性を生かした食材、郷土食及び伝統的な文化の紹介など、地域の人々との関わりを取り上げた具体的な活動例が提示してあり、地元に目が向けられるような工夫が見られる。

（２）　開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　授業後に「振り返り」や「生活に活かす」場面が設定できるつくりになっており、児童が学んだことを確実に身に付け、日常生活に結び付けることができるような工夫が見られる。
○　家庭科の学習内容と他教科との関連や、家庭生活とのつながりについて分かりやすく示されており、教員が指導しやすい工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【保健】

１　採択教科用図書
　○　東京書籍

２　採択理由
（１）　東京書籍は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　小単元毎に４つのステップで学習活動が設定されており、資料やデジタルコンテンツ等の豊富な掲載により、児童が身近な生活と関連付けながら、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。
○　児童の理解度をステップ４や章末で確認することができ、児童が不安や悩みに対処する技能を習得する際に、イラストから選んだり、一人で実践したりできるような工夫が見られる。
○　小単元毎の導入で課題を見つけられるような大きな写真や図の掲載や、豊富な記述欄があり、児童が主体的に思考・表現しやすい工夫がなされている。
○　地域と関連付けて、将来の健康課題を身近なものとして捉えるために、豊富な資料や関連サイト等が掲載されており、自分の生活を具体的に振り返ったり、効果的な解決方法を考えさせたりする工夫が見られる。

（２）　東京書籍は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　自分の考えや気持ち、授業後の振り返りについて、書き込むことができる箇所が多く、児童が自分の考えや学んだこと等を整理しやすい工夫が見られる。
○　飲酒、喫煙、薬物乱用などの、今日的課題に対応した内容や、性に関する内容が具体的に掲載されており、日常生活とのつながりや他教科との関連を考えられる工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、東京書籍の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【道徳】

1　採択教科用図書
○　光村図書

2　採択理由
（1）　光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

○　いじめ問題や国際理解、情報教育、福祉・共生などに関する教材を、連続して複数配置し、社会情勢や日常生活との関連を図ることで、児童が実感的に学べるような構成・配列の工夫が見られる。
○　多面的・多角的に考えられるように、複数の状況を取り入れた教材文や、考えを様々な切り口から問う発問を掲載するなど、児童が多様な価値観で話し合ったり、価値観を認め合ったりできるような工夫が見られる。
○　キャラクターが教材冒頭部分で学びに見通しをもたせる問いかけをしたり、終末部分で発展的な学習へつなぐ呼びかけをしたりしており、児童の円滑な思考や日常生活の振り返りを促す工夫が見られる。
○　暮らしを支える人やボランティア活動する人など、地域に貢献する人々を取り上げた教材が配置されているとともに、日本の伝統文化や、文化を次世代に継承する人々も取り上げられており、児童が日本の伝統文化や地域のよさについて感じられるような工夫が見られる。

（2）　光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

○　冒頭では「主体的に考え、話し合うことが道徳の授業」であることを示す「授業開き」の具体的な内容が掲載されており、児童が道徳の授業のイメージをもつことができるような工夫が見られる。
○　役割演技や自分の考えを伝え合う場、議論する場を多数設定するなど、児童が主体的に自分との関わりで考えることができるような工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。

令和２年度使用小学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【外国語】

１　採択教科用図書
　○　開隆堂

２　採択理由
（１）　開隆堂は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

　○　単元の配列については、各単元の学習に加え、年間２回の「Ｐｒｏｊｅｃｔ」が設定されており、児童が身につけた知識や技能を活用できる工夫が見られる。
　○　明確に示された「めあて」を達成するために、児童が身に付けた知識や技能を総合的に活用しながら、自己表現をすることで、児童の思考力・判断力・表現力等を育成できるような工夫が見られる。
　○　児童が何を学ぶのか、何ができるようになるのかが分かる「ＣＡＮ－ＤＯマップ」や「ふりかえり」の段階で達成度を確認するリストを掲載するなど、児童にとって分かりやすい工夫が見られる。
　○　身近な社会とのかかわりを意識することをテーマに、グループごとに自分の町を紹介し合ったり、町を紹介するポスターを作ったりする活動が設定してあり、指導者が地域の特色や特産物、自然などを素材として授業が展開できるような工夫が見られる。

（２）　開隆堂は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

　○　巻頭に「ＣＡＮ－ＤＯマップ」が示されており、生徒に求められる英語力を達成するための学習到達目標が具体的に示されており、児童や指導者が分かりやすい工夫が見られる。
　○　「Ｌｅｓｓｏｎ」ごとに掲載されているＱＲコードを活用することにより、英語での発音や対話を繰り返し聞いたり、英語のゲームをしたりすることができるなど、児童の理解の定着を促す工夫が見られる。
　○　外国の文化についての情報量や授業で活用できるピクチャーカードが多く掲載されており、児童がより世界に目を向けたり、指導者が授業を充実させることができる工夫が見られる。

門川町教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、開隆堂の教科用図書が最適であるとして採択した。